



# パキスタンの障害分野における ネットワークの役割 NGOマイルストーンの事例

長田こずえ

名古屋学院大学 国際文化学部 教授

前 国連ユネスコ パキスタン所長



# パキスタンとは？



- 事情
- 1 面積
- 79.6万平方キロメートル(日本の約2倍)
- 2 人口
- 2億777万人(年人口増加率2.40%)(パキスタン統計省国勢調査2017)
- 3 首都
- イスラマバード、州政府が独立している
- 4 民族
- パンジャブ人, シンド人, パシュトゥーン人, バローチ人、その他の他民族国家
- 5 言語
- ウルドゥー語(国語), 英語(公用語)
- 6 識字率
- 58%(10歳以上を対象)(2015/2016年度パキスタン統計局)
- 7 宗教
- イスラム教(国教)
- 8 政治体制
- 民主主義の政党政治





**Disability and Development**

# 障害の原因



# 障害の原因

- 貧困
- 栄養失調、ビタミン不足
- 医療へのアクセス不足
- 予防接種の不備、例 ポリオ小児麻痺ワクチン - 世界最大の小児麻痺発生国 (イスラム過激派の嫌がらせ)
- 内戦、戦争、テロ
- 交通事故
- 遺伝性、特に近親結婚
- 女性差別と女性への暴力 — 例 MALALA YOUSUFZAIのケース

# 障害の結果

- 障害者や家族の貧困
- 就学の問題
- 就職の問題
- 結婚や社会生活の問題
- バリアフリーの不十分
- 社会的な差別、特に障害を持つ女性
- 法制度の不備と実施強制力のなさ

# 障害者の状況

- 1998年の国税調査に基づくと、人口の2.49%が障害者、つまり、328万人の障害者、そのうち137万人が女性障害者
- 女性障害者の数が統計上少ない - 隠ぺいされた障害者
- 最新版の国勢調査データは頼りない
- 国内的には、531の特別支援教育学校が存在
- 国内には200以上のNGOや障害者団体が障害児の教育を支援
- 第18次の憲法改正により、各州の自治が強化され、国家レベルでの[障害者福祉省]は廃止され、障害者の教育や福祉は各州の権限に移される
- 国内の格差や都市 - 農村の格差



# 障害者の法的支援

- 2011年、CRPD 国連障害者の権利条約を正式に批准する
- 障害者権利条約の国内モニタリングメカニズムに関しては何？
- 障害者への差別禁止法の制定は？
- 既存の国内法
  - 1981, DISABLED PEOPLE'S EMPLOYMENT ORDINANCE 障害者の就業に関する法律
  - 1999, NATIONAL POLICY OF SPECIAL EDUCATION 障害者国内政策
  - 2006 NATIONAL PLAN OF ACTION FOR PERSONS WITH DISABILITIES - INCLUSIVE EDUCATION & SUPPORT TO NGOS 障害者に関する国家政策
  - 2008-2009 SPECIAL CITIZENS' ACT - PUBLIC TRANSPORTATION 特別ニーズを持つ人たちのための法律、主として公共交通に関するもの
  - 現在、差別禁止法に向けての努力

# マイルストーンの成果

- 障害者に関する態度の向上
- 障害者の自立生活運動 (IL)
- 障害者の社会参加を促す意識向上
- 12月3日、国連障害者の日のパレード
- 2005年、カシミールの大地震の被害者のためのプロジェクト – ピアカウンセリングなど
- 国連 世界銀行からの融資を受け大規模プロジェクト(\$\$\$\$) – 国内全土の活動
- 拠点をラホールに戻し、地道な活動を継続
- 車椅子プロジェクト
- ネットワーク活動に関する成果

# MILESTONE

## MR. SHAFIQ のネットワーク

- 日本とのネットワーク
  - ダスキネットワ​​ーク – ダスキアジア太平洋障害者リーダー育成第3期生
  - 自立生活 ILのネットワーク
- 国際的、アジア地域のネットワーク
  - 国連ESCAPを中心とするネットワーク 第3次アジア太平洋障害者の10年
  - APCD アジア太平洋障害者センター 元JICAプロジェクトを核とするネットワーク
  - 国連CRPDに関するネットワーク
  - 世界銀行 ワールドバンクや現地の国連とのネットワーク
  - APDF アジア太平洋障害者フォーラムを拠点とするネットワーク
- パキスタン国内ネットワーク
  - MILESTONE と JICAのリーダーシッププロジェクト卒業生が設立した、首都イスラマバードを起点とする、STEP(SPECIAL TALENT EXCHANGE PROGRAMME) のアティフ氏を中心とする国内ネットワーク
  - パキスタン障害者フォーラム{PAKISTAN DISABILITY FORUM}の結成とネットワーク
  - パキスタン国内のCBRやCBIDなどの草の根の障害活動ネットワーク – シンド州の障害者団体とも交流

# ネットワークのインパクト

- ネットワークを通して限られたリソースを共有し合い、長期的、大規模なプロジェクトを可能にする
- 国際的、アジア地域、日本とパキスタン、国内レベルでのネットワークを強化する
- 訓練、情報や技術の提供と共有
- グッドプラクティスの共有
- ネットワークを通して資金などのリソースを手に入れることができる
- ネットワークを通じて個人として、あるいは組織としてのキャパシティを向上させ、パキスタンの顔としての国際貢献ができる — 例えば、国連権利条約の国際会議参加など
- ネットワーク = 社会的な資源 (SOCIAL CAPITAL) の形成
- 地元での地道な活動の継続、当事者団体としての原点



一緒に学びましょう